



## 駅係員がいなくて対応できなかったのに… 一体誰が？ 帰宅困難者対策!?

過日、こんなことがありました。

八高線箱根ヶ崎駅で旅客より具合の悪い方がいると申告を受け対応、意識がないとの事から救急隊を手配、駅係員がいないことから救急隊到着まで乗務員が付き添った結果、約25分の列車遅延が発生しました。

上記事象は紛れもなく駅係員がいないことによる列車遅延と言えます。

こうした事象を引き起こしておきながら、八王子支社はホームページ上において『瑞穂町とJR東日本八王子支社の「災害時等における帰宅困難者対応に関する協定」の締結について』をプレスリリースしました。

確かに大規模災害を想定して様々な手を打つ事は大切であり、否定すべきものではありません。しかし、**危惧しているのはこうした『帰宅困難者対策協定を地方自治体と締結した』事実が一切現場には知らされていない**ことです。上記した急病旅客の対応でもわかる通り、駅係員が対応できない時間は乗務員が対応するのですが、協定に記載されている“誘導・情報提供・物資提供”など、一体どのように知らされ、どこで手に入り、誰が提供するのかさっぱりわかりません。

どうしろと言うのよ…



## 大規模災害対策は大切 社員周知はもっと大切!!

2019年8月1日  
瑞穂町  
東日本旅客鉄道株式会社八王子支社

瑞穂町とJR東日本八王子支社の  
「災害時等における帰宅困難者対応に関する協定」の締結について

2019年8月1日、瑞穂町(町長:杉浦 裕之)とJR東日本八王子支社(支社長:下村 直樹)は、災害時等における帰宅困難者対応の連携を強化するため、協定を締結しました。

- 1 協定の主旨  
瑞穂町とJR東日本八王子支社は、大規模災害(大雨、大雪、洪水、地震など)等が発生し、鉄道の運行停止が継続した場合の帰宅困難者対応に関して、相互に連携して協力することにより、人命を守り安全を確保することを目指しています。
- 2 協定に基づく連携内容  
(1) 指定避難場所等への誘導  
(2) 情報の共有・提供  
(3) 物資等の提供  
(4) その他
- 3 協定適用駅  
八高線 箱根ヶ崎駅(東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎397番地)
- 4 受入想定場所  
安全確認を行った上で、駅構内や指定避難所(瑞穂第一小学校、瑞穂武道館、箱根ヶ崎南会館、箱根ヶ崎中央会館)での受け入れを想定しています。
- 5 その他  
2019年8月1日に協定書を取り交わしました(締結式等はいりませんでした)。災害を幅広く想定した協定締結は、多摩地区自治体では瑞穂町が初となります。